

# 2020年の試験改訂について ポイント解説 - どう変わったのか？

リーディング&ライティング、リスニング、スピーキングテストと4技能を3つのパートに分けて実施していましたが、  
2020年の改訂で技能別実施となり4つのパートに分かれます。

詳しい情報はウェブサイト [cambridgeenglish.org/key-and-preliminary](https://cambridgeenglish.org/key-and-preliminary) (英語) をご覧ください。

## リーディング

45分

6パート 全32問

順序変更や、短くなった設問がある（旧版は5パート、全35問）

パート	設問タイプ	内容	設問数
1	短文に関する多肢選択式問題	異なるタイプの5つの短いメッセージを理解する。旧版のPart 1と同じ	5
2	マッチング問題	8つの短文から特定の情報を探し出し、詳しい情報を読み取り5人の人物に関する記述とマッチングさせる。旧版のPart 2と同じ	5
3	多肢選択式問題	文章の概略をつかみ、全体と細部の意味、著者の態度や意見・感情などを読み取って、4つの選択肢 (A,B,C,D) から1つを選んで多肢選択式5題に答える。旧版のPart 4と同じ	5
4	多肢選択式文補充問題	文章の概略と構造を理解する。正しい文を選んで空所を補充する	5
5	多肢選択式空所補充問題	空所のある文章を読んで、選択肢 (A,B,C,D) から正しいものを選んで空所を補充する。旧試験のPart 5と同じだが、短くなっている	6
6	空所補充問題	空所のある文章を読んで、空所を補充する単語を書き入れる	6

## ライティング

45分

2パート 全3問

旧版は3パート 全7問

パート	設問タイプ	内容
1	Eメールを書く	与えられた情報に応えるEメールを約100語で書く。旧版のメッセージを書くタスク (35-45語) よりも多くの語数が求められる新タスク
2	記事または物語を書く	与えられたトピックに関する記事 (article) または物語 (story) を約100語で書くタスク。物語以外の選択肢が旧版の手紙 (letter) から記事へと変更



# 2020年の試験改訂について ポイント解説 — どう変わるのか？

## リスニング

30分

パート数・設問数ともに、4パート・全25問で変更なし  
設問の順序変更あり

パート	設問タイプ	内容	設問数
1	短文に関する 多肢選択式問題	7つの短いテキストを聞き、情報を探し出して選択肢（A,B,C）の中から正しい写真を選ぶ。旧版のPart 1と同じ	7
2	短文に関する 多肢選択式問題	6つの短いテキストを聞き、話者の態度や意見を聞き取り、選択肢（A,B,C）から正しいものを選ぶ	6
3	空所補充問題	長めのテキストを聞き、欠けている情報を空所に書き入れる。 旧版のPart 3と同じ	6
4	多肢選択式長文 問題	長いテキストを聞き、特定の情報、細部の意味、態度や意見を聞き取る。旧版のPart 2と同じ	6

## スピーキング

12分

4パート（変更なし）

パート	設問タイプ	内容
1	導入段階 Introductory phase	受検者は、一般的なやり取りや社交的な言語を使って、試験官の質問に答える。 旧版のPart1と同じ
2	個別タスク Individual (long turn)	適切な語彙を使い談話を管理しながら、写真を長めの時間を使って説明する。 旧版のPart3と同じだが、受検者に示される写真のテーマは必ずしも同じとは限らない
3	協力タスク Collaborative task	与えられたイラストを見ながら、機能言語を用いて提案、提案に対する応答、代替案についての話し合い、推薦、意見をまとめるための交渉等を行う。 旧版のPart 2と同じ
4	ディスカッション Discussion	好きなこと／嫌いなこと、好み、習慣、意見について話し合う、賛成／反対意見を述べる。 旧版のPart 4と同様だが、Part 3の「協力タスク」に関連したトピックについて話し合う。 (旧版では、Part 3は写真説明であり、それに関連した内容を議論)

試験結果のグレード表記は、上位レベルのケンブリッジ英語検定と同じ表記に変更されました。  
Pass with Distinction → グレードA  
Pass with Merit は → グレードB  
Pass → グレードC

### 解説

変更される設問

新規の設問

